



このコーナーでは、「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは200文字以内。写真は1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削します)
- ◆住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載)を記入の上、ご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・FAX・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。
- ◆投稿者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



【投稿・問い合わせ先】
〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎04113
FAX09420
✉koho@city.isa.lg.jp

去年家族のように育てた犬が死んでしまいました。ショックで落ち込んでいたのですが、仕事先で子猫をもらうチャンスがあり、私は今まで猫を飼うことがなく迷いましたが、犬の生まれかわりと思い育てることにしました。1年たつてすくすく育ち、すっかり家族の一員となりました。ペットのおかげで前向きな日々を送っています。出会えたことに感謝です！
(羽月 サンガール 60代)

川内川流域の田んぼは時代とともに変化し、伊佐米ブランドとして今日までできている。今年には休作と決まり、どれ程農家の方が悩み、心配されたか。それでもいつものように畦払いをし、トラクターで耕して、今日も何か植えられる。どの田んぼも明日のために生きている。世界も日本も鹿児島も数々の災害にあっている。この事に負けてたまるかの勢いで、しっかりと次に継いでいくことを目標に。農家さん、田んぼさん、キバイが!!
(本城 太良姫 70代)



イタリアのポローニャから伊佐市へ居合を習いに来たダリオ・フェラーリさん。見事な太刀さばきでした。
(山野 K・K 70代)

46年ぶりに故郷に移住しました。どこもかしこも変わっています。小学生の人数もとても少なくなり、牛乳やパンを買っていったお店もなくなりました。通学に使っていた菱刈駅や大口駅はどこにあったのでしょうか。ドキドキしながらそっと交換日記を手渡ししていた駅がもうありません。町の雰囲気もすっかり変わっています。あの方も変わってしまったのでしょうか?
(本城 ほかさんといて 60代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H30. 8. 1 現在 (前月比)

総人口	26,266人	(- 48)
男	12,215人	(- 20)
女	14,051人	(- 28)
世帯数	13,588世帯	(- 23)

高校3年生が多かった今回。これから頑張りたいことを聞くと、皆さん「受験です!」と一言。これからさらに大変な時期だと思いますが、自分らしく自信を持ってやり切れることを祈っています。合格祈願!!
お忙しい中、今回の取材にご協力いただいた6人の皆さま、高校の先生方誠にありがとうございました。



編集後記

今回の高校生特集、お話を聞いてみると皆さんの意識の高さや行動力に驚かされました。
マイブームや部活等について話しているときは高校生らしさを感じましたが、今まで一生懸命に取り組んできた事や、やりたい事・夢を語っている姿は、制服を着ていても、なんだかとても大人びて見えました。堂々としていて、まさに輝く若者たちの姿でした。